

人口が日本の10倍以上の13億ともいわれる中国ですが、あらためてそのパワーを実感した次第です。ここ数年、日本では円安効果による中国人観光客の爆買いが話題になっていますが、今では百貨店や家電量販店はもとよりドラッグストアや100円ショップでも中国語が通じます。心斎橋や銀座では、百貨店の中に免税店もできました。私たち日本人が海外の観光地に行き経験してきたのと同じような状況が、今この日本でも起きています。2020年の東京オリンピックまでは観光客の増加が見込まれています。ホテルを含めた受け入れ態勢の整備が課題となっていますが、それよりも「おもてなしの心」を含めた様々な日本らしさを体験してもらい、「また日本を訪れたい」という気持ちになってもらうことが大事なのではないかと思えます。そういう経験をした人が増えることによって、日本が本当の意味での観光地になれるのではないのでしょうか。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

- ①台湾南部・高尾市を震源とする地震では、マンションの倒壊する映像と共に、多くの犠牲者や行方不明者があることが報道されています。当2660地区では、義援金を募るなどの検討を始めたところですが、この被害は、自然災害というより手抜き工事が原因の人災であり、第一義的には当該施工者に責任があると認識されます。また、現地から支援依頼がないことから、地区としての義援金の募集は断念されました。あとは、個別の判断に委ねられます。ご承知ください。
- ②5月にソウルで開催されます国際大会への参加者は、現在13人になっています。参加希望の会員にはパスポートを事務局にFAXしていただくよう依頼しておりますが、半数の方がまだのようです。至急お願いします。
- ③3月度の理事会は7日(月)から14日(月)に変更されています。理事の方には、お間違えのないようにお集まり下さい。

4. ニュニコ報告 藤野 英男 親睦委員

片岡 会員……本日卓話当番です。よろしくお願ひします。

斧原 会員……結婚記念のお花、誠に有難うございます。

藤野、新川、杉浦、今泉、宮原、渡辺、松永、沖、松谷、小山、北野、塩尻、栗原、俣野、井澤、大嶋、平山、中村、武田、岡本(真)、高階、甚田、カントーレ、

各会員……錦織圭選手 男子テニス メンフィス・オープン4連覇おめでとう

5. 出席報告 片岡 清夫 SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 32名 出席率 82%

第1226回(1月25日) 修正出席率 97%

6. 国際奉仕フォーラム 「国際奉仕活動について」 地区国際奉仕委員 宮崎 正人 様



歴史

1905年……ロータリー誕生

1910年……カナダでRC(米国以外で初)

1940年……第1次世界大戦 イギリスとアイルランドで戦争避難民救済活動(国際奉仕のめげえ)

1922年……ロサンゼルス大会にて、ロータリーの綱領として正式に明文化

2013年……「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」と変更されないよう訳文も改正

歴史上特筆すべき国際奉仕活動

1945年……米国國務省からロータリアン49名が国連憲章の原案作成に参加

人道的国際奉仕の歴史的背景

ロータリーの歴史初期、人道的補助活動を主体とする国際奉仕の概念は無かったが、1914－18年第1次大戦中に難民兵、傷病兵、服役軍人に対するボランティア活動や物資援助がはじまり、マンパワーや技術の提供だけでは実効が上らない活動にジレンマが生まれる。

「ロータリアンの親交をもって理解・親善・平和を推進する」のが国際奉仕の目的であり、金銭的援助を伴う世界奉仕活動はロータリーの発展を阻害する」という意見もあった。

1966年、それまで財政援助を禁じていた「決議20－12」が撤廃となり、現在の金銭的支援を伴う国際奉仕が可能となった。

◎国際奉仕委員会 片岡 清夫 委員長



○「フォーラム」とは

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕部門委員会主催のクラブ・フォーラム(討論会)は、奉仕部門ごとに最低1回、開催するように奨励されています。各奉仕部門担当の役員・理事・委員長が討論リーダーとなりそれぞれの部門のクラブ活動の内容や課題について、会員が意見を出し合い、フリーディスカッションをするのが本会合の目的です。クラブ・フォーラムは元来「クラブ会員による討論会」ですから、主催者側からの一方通行的な卓話や情報の提供だけで終わらないように進めることが重要です。

○国際奉仕の歴史

人道的国際奉仕、国際理解、親善、平和を推進する為に実施する全ての活動を言います。

初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなどの歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が1922年に当時の綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。

○英国テレビドラマ「ダウントン・アビー」の紹介

「華麗なる英国貴族の館」

第一次世界大戦前後、カントリーハウス(貴族の館)での貴族と使用人達の生活を描くイギリスのテレビドラマシリーズ。このドラマを観ているとロータリーの国際奉仕がスタートした時代背景や第一次大戦から第二次大戦に至るヨーロッパの事情がよく分かり合わせて紹介させて頂きました。

○当クラブの国際奉仕活動の現状

- ・澤田会長の国際医療奉仕活動 児童、青少年に対する教育活動
- ・岡本真太郎会員を中心としたインドネシア・バリ島就学困難児童への援助
- ・姉妹クラブであるシンガポールRCとの交流
- ・初めての青少年交換留学生の実施

○2月6日(土)に行われた国際奉仕委員長会議の報告

○国際奉仕活動を行うにあたって世界の経済、政治、社会情勢を知ることが大事だと思います。

参考資料:

1. 日経ビジネスNo. 1827号「チャイルショック」リーマンより怖い現実
ユーラシアレポート(コピー配付)
2. 2月14日(日)読売新聞より内閣官房参与・浜田宏一氏の記事(コピー配付)

<h1>株安・円高悲観しすぎ</h1>	<p>はまだ・こいつち 東大教授、内閣府経済社会総合研究所長などを経て、2019年12月から内閣官房参与。米工1ル大名譽教授。専門は国際金融。80歳。</p>
<h2>市場動乱</h2> <p>年明け以降、金融市場では株安・円高に歯止めがからない。背景と展望について、安倍首相の経済政策のブレインで内閣官房参与の浜田宏一氏が米国で読売新聞の電話インタビューに応じた。主な発言は次の通り。</p>	 <p>電話インタビューに応じた浜田氏 (写真は1月、東京都内で撮影)</p>
<p>現在の金融市場の状況は、アベノミクスによる金融政策がうまくいっていないことを示しているわけではない。単に市場が過剰に反応しているだけだ。日本経済や世界経済を取り巻く状況をとらえて悲観する必要はない。金融市場が悲観論に走ることは、少し異常だ。</p>	<h3>内閣官房参与 浜田宏一氏</h3> <p>原油価格の下落については、人々が先々も物価が下がるを予想する「デフレ期待」が高まる懸念はあるものの、電気やガソリンを消費する企業や個人にとっては悪い状況ではない。日本経済にとって追い風だ。</p> <p>今、日本銀行がリターンシップを發揮し、マイナス金利の導入で日本経済を金融政策で下支えするという明確なシグナルを出したことは極めて重要だ。少なからず目標とする2%の物価上昇を達成するまでは、現状の金融緩和姿勢を継続する必要があるだろう。ただ、金融政策だけで日本経済を支えることが徐々に難しくなっていることも</p>
<p>確かに、中国経済の減速は深刻だ。ただ、日本経済が関わるのは貿易や国際金融といった限られた領域だ。中国と同様に日本の株式が下落する理由は、実は全く見あたらない。</p>	<p>事実だ。長期金利を引き下げることにより企業の投資が増えるかといえば、現実的には極めて困難だ。企業は投資を恐れ、貸金や配当にもお金は回っていない。それほど、20年続いたデフレ不況の傷痕は深い。</p> <p>重要なのは、政府主導で日本経済のファンダメンタルズ(基礎的條件)が力強いということを周知させ、人々の期待を楽観的なものに変えていくことだ。同時に、農業やエネルギーといった業種に標的を絞って、生産性を高めるための構造的な改革を積極的に推進していく必要がある。</p> <p>(聞き手・経済部 田中宏幸、関連記事一面)</p>

2016年2月14日(日)読売新聞より

- ☆次回2月29日(月)例会予定
- ・職奉卓話: 斧原会員・沖会員
- ・次年度委員長発表

